



ワーカーズコープ連合会は、昨年6月の創立総会で4つの基本機能を定め、取り組んできた。4つの基本機能は、(1)代表機能、(2)コーディネート及びプラットフォーム機能、(3)支援機能、(4)開発機能である。(2)では加盟組織同士の情報共有を大事にしており、その中で第2回加盟組織研修交流会議が無茶々園(愛媛県西予市)にて開催された。ケアワーカーズコープ北海道、ワーカーズコープながの、ワーカーズコープちば、創造集団440Hz、TNG、コモンウェーブ、はんしんワーカーズコープ、ワーカーズコープ山口、無茶々園の森、ワーカーズコープ・センター事業団四国開発本部、ワーカーズコープ連合会から30人が参加。「大地とともに心を耕せ」をスローガンにエコロジカルな地域社会を目指してきた、50年間にわたる無茶々園の活動報告及び視察。また山口、はんしん、四国開発本部の活動報告もおこない、事業、経営、運営、社会連帯について特徴や課題を出し合い、忌憚ない意見交換と親睦で深めた。初参加のメンバーからは、「自分の労協は会議が多くて不安だったが、その必要性も理解できた。しかし、現場に入りたいし、経理もしないといけないので大変」という葛藤。また「自分たちの悩みやノウハウを包み隠さず、話し合える関係性が協同組合なんだ」との実感も語られた。組織の歴史や事業内容は異なれど、地域で循環する事業展開や全国から若者が体験から移住して働き続ける取り組みやブランド構築

などについて学び交流する機会となった。

ワーカーズコープ連合会の理事会のもとに気候環境アクションチームが設置され、地球環境サミットなどに取り組むほか、昨年同様にアースデイ東京2024に実行委員会方式で準備を重ね参加(代々木公園4/13-14)。センター事業団首都圏事業本部、関係する団体(反貧困ネットワーク、JTSU)、連合会で合わせて13の竹テントを設置し、ワーカーズコープ・ビレッジを出現させた。プラスチックフリー商品、これまで廃棄されていたバナナ、小麦の栽培から作ったうどん、障がい者製造のお菓子など販売、木をつかった子どものおもちゃづくり、子ども向け人形劇、ミニステージでのトークや音楽など、多様な企画を実施。連合会相談ブースにも、ワーカーズコープや協同労働に関心もつ方々が訪れた。

ワーカーズの取組を紹介するワーカーズコープ・ビレッジは今後も各地で出現させたく、ワーカーズコープ連合会総会(6/22)後に、午後2時から「ワーカーズコープ・フェスティバル」を開催し、ビレッジを再現する。加盟組織によるブース出展、ミニステージのトークセッションや、音楽の労働者協同組合(Koshikake Events、おたすけおんがく隊)による演奏、ワーカーズ・コレクティブの食事などを通して労働者協同組合同士、一般参加など関心ある方々との交流をめざす(参加費1,000円食事代)。ぜひ多くのおみなさんの参加をお待ちします。